

明治三十八年度

福岡縣水産試験場
圖書第八十六號

鹿兒島縣水産試験場報告

明治三十八年度鹿兒島縣水産試験場事業報告

目次

一	鯉餌料鯉網試驗	一
一	試驗ノ主旨	一
一	網ノ構造	一
三	使用法	三
四	漁業日誌	四
七	貯藏日誌	七
七	二 鯉揚繰網貸與試驗	七
八	漁業日誌	八
十	三 鯉餌料貯藏試驗	十
十	活籠試驗	十
十三	唧筒試驗	十三
十三	第一回試驗	十三
十四	第二回試驗	十四
十五	船隻試驗	十五
十六	結果	十六

四 鱒流網貸與試驗

十八

五 羽鱒巾着網試驗

十九

日誌

十九

六 鱒延繩及旗魚(秋太郎)延繩貸與試驗

廿七

鹿兒島郡谷山村河野嘉助報告(鱒之部)

廿七

熊本郡北種子村後庵計佐吉報告(全上)

廿八

鹿兒島郡谷山村恒吉七郎報告(旗魚之部)

廿八

同郡同村是枝周助報告(全上)

卅三

鹿兒島縣水產試驗場報告

鯉餌料鯿網試驗

試驗ノ主旨

鯉漁業ノ改良發達ヲ圖ルハ本縣ノ漁業獎勵上急中ノ急ナルモノタルコトハ已ニ鯉餌料鯿貯藏試驗ノ主旨ニ於テ詳述セル如クニシテ本場ハ之カ目的ヲ達センカ爲メ鯿貯藏試驗ニ從事スルト共ニ他方ニ於テハ種々調査ノ結果鯉釣餌料トシテ適當ノ鯿ヲ捕獲シ得ルノ見込確立シタルニヨリ從來長崎縣下ニ於テ用ヒラル、小鯿縫切網ヲ調製シ試驗ヲナスコト、セリ

抑モ鯉釣餌料トシテ鯿ハ遠ク鯿ニ及ハサルノミナラス鯿ヲ使用スルモノハ鯿ヲ使用スルモノニ比シ漁船一艘ニツキ乗込員十人内外ヲ増加セサルヘカラサルハ當業者ノ周ク認識スル処ナルニモ拘ラス本縣ノ鯉釣船ハ主トシテ鯿ヲ用ヒ只秋期ニ至リ僅カニ熊本縣天草郡地方ヨリ鯿ヲ購入シテ使用スルニ止マリシ所以ノモノ必竟本縣下ニ於テハ眞鯿ノ小ナルモノ全ク捕獲ナキニ非ルモ其量極メテ少ク鯉釣船ノ餌料トシテ供給スルニ足ラサリシニツキ隨テ專心之レカ調査研究等ニ從事シタルモノナキニ依ルカ如シ然レトモ本場試驗ノ結果ニ因リ全部鯿ヲ供給シ得ルニ至ラハ縣下ノ鯉釣船ヨリ總數一千人以上乗込員ヲ減シ得ルノミナラス此一千人余ヲ以テ新タニ五十艘ノ釣船ヲ出漁セシメ得ヘキニ依リ其一艘ノ漁獲高ヲ三千圓ト假定スルモ總額十五萬圓ニ達シ又從來ノ釣船カ乗込員減少ノ爲メニ受クヘキ利益其他多數ノ鯿漁業者ガ蒙ル利益等本縣漁業界ヲ利スルコト實ニ莫大ナルモノアリ是レ本試驗ヲナサントスル所以ナリ

網ノ構造

身網

壺部(イ)ハ綿糸二合六本撚二十四節目横百掛網地二尋半切十九反ヲ横縫ス

鯿餌料鯿網試驗、網ノ構造

囊部(ロ)(ハ)ハ共ニ同上ノ網地五尋切各二十反ヲ横縫ス

つけまわし(ニ)ハ綿糸二合六本撚二十節目横百掛網地五尋切四十四反ヲ横縫ス

一番胴(ホ)ハ綿糸二合八本撚十八節目横百掛網地五尋切三十八反ヲ横縫ス

一番胴ノ内(ヘ)ハ綿糸二合八本撚八節目横百掛網地五尋切ノモノ各三反ツ、ヲ左右ニ用ユ

二番胴(ト)ハ綿糸二合十本撚八節目横百掛網地五尋切三十四反ヲ横縫ス

三番胴(チ)ハ同上ノ網地三十七反ヲ横縫ス

四番胴(リ)ハ綿糸二合十二本撚二寸目横百掛網目五尋切二十六反ヲ横縫ス

五番胴(ヌ)ハ同上ノ網地二十四反ヲ横縫ス

縁網(ル)ハ綿糸二合八本二十節目横三百掛網地長サ八寸切ノモノ五反ヲ横縫ス

縁網(ヲ)ハ綿糸二合十八本撚二寸目横七掛網地左右各二十四尋切一反宛以上ノ網地ヲ先ツ第二圖ノ如ク縫合ハセタル后(

ワ)ト(ヨ)トヲ取リ(ヰ)(カ)トヲ縫合ハセ又(ソ)ト(タ)トヲ取リ(ソ)(レ)ト(タ)(レ)トヲ縫合ハセ而シテ更ニ之ヲ浮子綱

ニ縫合スルニハ(チ)(ハ)及(ナ)(ソ)ヲ各浮子綱二十二尋間ニ(ヨ)(タ)ヲ浮子綱六尋半間ニ配合スルキハ網ハ自然ニ箕形ヲ

ナシ(イ)(ロ)(ハ)ハ其囊部トナルヘシ

浮子方

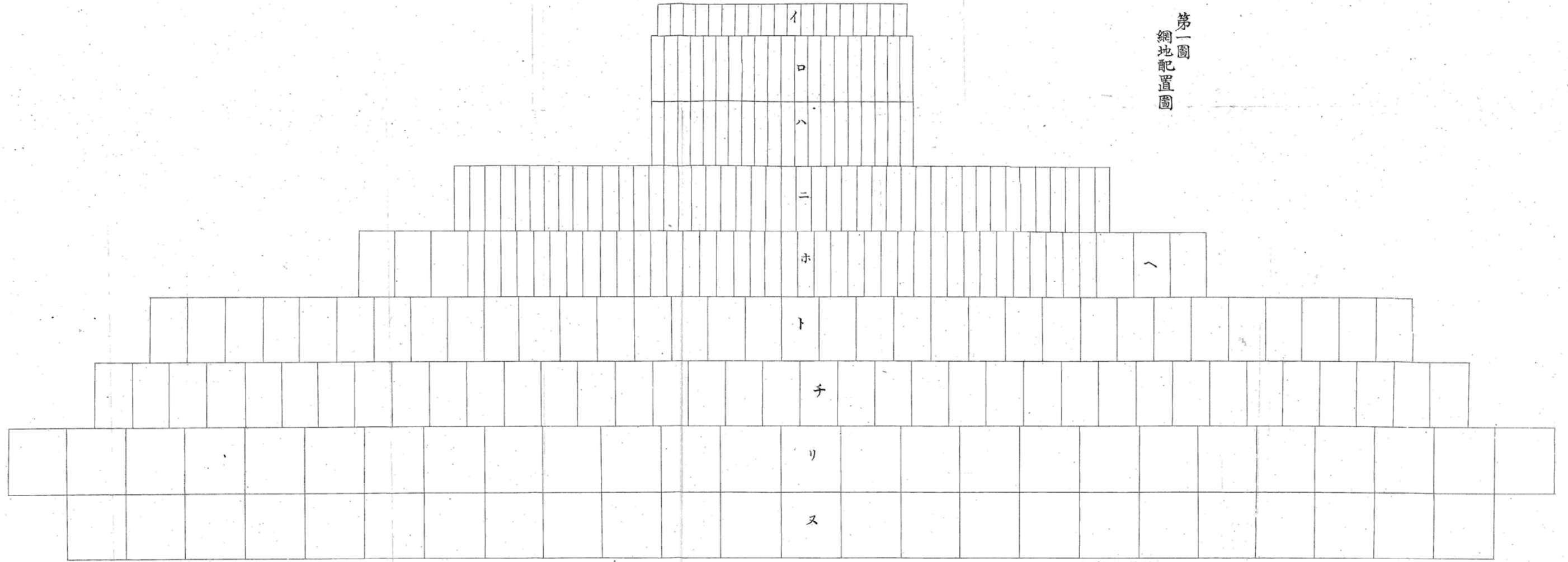
浮子ハ桐製長八寸巾三寸厚一寸五分ニシテ五寸隔ニ浮子綱ニ結附ス

浮子綱ハ棕梠製三打徑三分五厘ノモノ二條ニテ浮子ヲ挟ム

浮子からげ綱ハ藁製二子撚徑一分ノモノヲ用ヒ浮子綱ニ浮子ヲ結附スルコト通常網ノ製作ヲナスニ異ナルコトナシ

へこハ麻二子撚徑一分ノ綱ニテ四寸五分ノ綱目横一目長五十三尋ニシテ之レヲ浮子綱ト縁網(ヲ)(ル)トノ中間ニ用フ

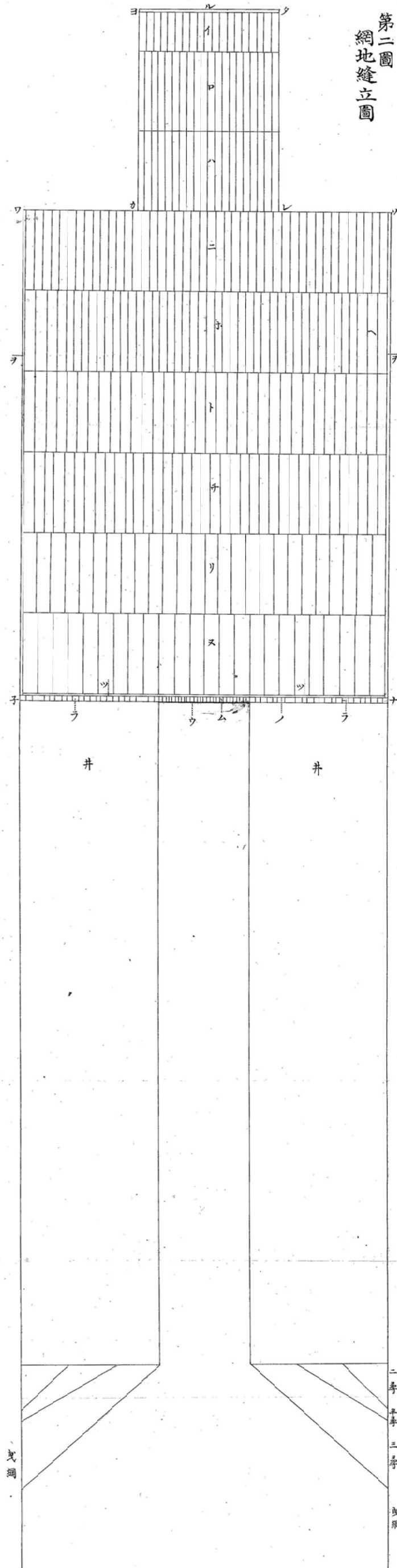
第一圖
網地配置圖



合割之結縮
五

五

第二圖
網地縫立圖



五 尋

口前

縁網(ツ)ハ綿糸二合十二本燃一寸八分目横四掛長サ九十六尋トス

筋繩(ノ)ハ麻製二子燃徑五厘ノモノ二條ニシテ長サ各八十尋ニシテ之レニ縁網ヲ縫合ハスルニハ五番舳ノ網地一反ヲ筋繩三尋三分余ノ間ニ配合ス

大筋繩(ウ)ハ棕櫚製三打徑五分長サ六十二尺トス

五番舳二十四反ノ内左右各九反宛ヲ荒手附トシテ中央部六反ヲ以テ本口前ヲ構成シ筋繩二尺隔ニ麻製二子燃徑一分長サ一尺五寸ノくもで(ム)ニテ大筋繩ニ結附ス

荒手

荒手網(キ)ハ藁製二子徑一分五厘ノ繩ニテ八尺目横二十三掛編卸シ三十尋ノモノヲ左右ニ用フ

浮子網ハ藁製三打徑一寸三分ニシテ之レニ荒手網ヲ直接ニ結附シ又浮子ヲ用ヒス所々ニ浮樽ヲ附シテ代用トナス

沈子網ハ藁製三打徑一寸三分ニシテ之レニ荒手網ヲ結付スルニハ藁製二子徑三分長サ一丈八尺ノ繩ヲくもでトシ荒手網一目毎ニ沈子網一丈隔ニ配合ス

沈子ハ石ヲ藁繩ニテ包ミ一ケ一貫目余ノモノヲ口前ノ左右ニ各一個宛其他ハ一個二百目余ノモノヲ四尋隔テニ結附ス

荒手網ヲ身網ニ縫合スルニハ身網口前ノ筋繩ニ麻製二子徑五厘長サ一尺ノ繩(ラ)ヲ左右各二十三本宛附設シ置キ之レヲ以テ荒手網一目毎ニ身網ニ結附ス

曳網ハ藁製三打徑二寸ノモノ左右各六十尋

使用法

本網ハ元來焚寄漁ニノミ用フルノ目的ニテ製作セラレタルモノニテ之レヲ使用スルニハ火船二艘(稀ニ三艘使

用スルモノナキニ非ス)網船二艘半船二艘(小形 網ニハ時トシテ使用セサルヲアリ)ヲ用ヒ網船ニハ一艘ニ各十二三人火

船及手船ニハ一艘ニ各四五人乗込ミ網船ハ各荒手網ノ一片ヲ積入レ身網ハ隔日交互ニ積載シテ出船シ已ニ漁場ニ達スレハ
 両船相舫ヒテ網ヲ縫ハセ藝部ヲ両船ノ中央ニ積ミ沈子方ハ各船ノ表ノ間ニ設置スル等通常網類ヲ使用スルニ異ナルヲナシ
 火船ハ適當ノ位置ヲ計リテ篝火ヲ焚キ魚群ヲ集寄スルヲ認ムレハ網船ニ合圖ヲナシ且ツ潮流風向等ヲ案シテ網ノ最モ膨脹
 セル部分ニ漕行キ可成魚群ヲシテ網ニ觸接シテ驚愕散逸セシメサル様注意ヲナスコト肝要ナリ
 本網ハ籐狀ヲナセル部分ヲ一時ニ投入シ荒手網ヲ以テ火船ヲ圍繞シ然ル後網ヲ曳寄スルモノナルニツキ船ハ寧ロ網ニ曳寄
 セラル、ノ傾キアリ故ニ手船ハ獨リ張網ノ際漕船トナルノミナラス網繰揚中ハ櫓又ハ風力ニ依リテ網船ヲ外方ニ曳引スル
 フ務トス

漁業日誌

月日	使用回数	時刻	使用場所	天候	風向及潮	流	海水	種類	獲量	記事
九月廿二日	四	八時九時十時	めつけ曾根	晴	北西微 干満ニ從フ	緩	清	小いわし	六斗	初二回小いわし尤モ多ク之レハ籠ニルカシ後二回主ニ鰯ナレハ終セリ
全 廿三日	五	八時九時十時	全	晴	北東微 東南	急	清	全	一斗	初二回ハ僅カニ捕獲シ二回目ニ四斗位ヲ得四五回ニテ凡一石位ヲ捕獲此分ハ終セリ
全 廿四日	三	八時十時	全	全	北東 全	全	濁	全	一斗	
全 廿五日	二	九時十時	全	全	全	緩	濁	全	一石	
全 廿六日	一	九時四十分	めつけ曾根	晴	北 軟北	急	全	小いわし	六斗	
全 廿七日	一			曇	西強	急	濁		一斗	時化休ミ
全 廿八日	ナシ		めつけ曾根	全	北西軟 干満ニ從フ	急	濁		一斗	波高ク汐魚魚附カス

斯クシテ網ヲ使用シ了レバ更ニ他ノ火船ニ集寄セル魚群ノ捕獲ニ從事シ一夜ニ二十回以上ノ使用ヲナスヲ敢テ勘シトセス

全廿九日	全三十日	十月一日	全二日	全三日	全四日	全五日	全六日	全七日	全八日	全九日	全十日	全十一日	全自十二日至十七日	全十八日	全十九日	全二十日	全廿一日
				一十二時卅分				二時三十分	二時三十分	四時半	三時半	一五時		一八時	二九時		
			全	佐潟鼻西方	全			めつけ會根		佐潟鼻西方	全	全		佐潟鼻西方	全		
晴	晴	晴	全	曇	全	雨	雨後晴	晴	曇	晴	全	曇		微雨	曇		晴
西強	北軟	北西和	全	北強	全	北東強	北西強	北西和	南強	北西微	北西強	全	全	北和	全		西北疾
	千満ニ	千満ニ	全	東	全			從フ		西	東	全		東			
急	急	急	全	急	全			緩		緩	急	全		緩	全		
	濁	全	全	全	全			清		清	清	濁		清	全		
				い	い			い	あ	い	い	あ		あ	あ		
				わ	わ			わ	う	わ	わ	あ		あ	あ		
				し	し			し	め	し	し	し		し	し		
				八	一			五	二	二	一	八		六	一		
				升	石			石	石	石	石	升		斗	斗		
				初度ハ風無キ爲張網ハノ如クナラハ重	初度ハ風無キ爲張網ハノ如クナラハ重			籠ニ餘リ多量ヲ入レシ爲三斗位斃死セ	籠ニ餘リ多量ヲ入レシ爲三斗位斃死セ	籠ニ餘リ多量ヲ入レシ爲三斗位斃死セ	籠ニ餘リ多量ヲ入レシ爲三斗位斃死セ	籠ニ餘リ多量ヲ入レシ爲三斗位斃死セ		月入り遠近ケレハ二ツノ火舟チ一所ニ	月入り遠近ケレハ二ツノ火舟チ一所ニ		
				モニ後二回ニテ捕ヘタリ	モニ後二回ニテ捕ヘタリ			シ爲非常ノ斃死チナセリ	シ爲非常ノ斃死チナセリ	シ爲非常ノ斃死チナセリ	シ爲非常ノ斃死チナセリ	シ爲非常ノ斃死チナセリ		月夜トナリシ爲沖出セズ	月夜トナリシ爲沖出セズ		
				網ヲ使用セズ	網ヲ使用セズ			潮流早ク魚附カズ	潮流早ク魚附カズ	潮流早ク魚附カズ	潮流早ク魚附カズ	潮流早ク魚附カズ		時化ノ爲休ミ	時化ノ爲休ミ		
				沙早ク魚附カズ	沙早ク魚附カズ			雨時化休ミ	雨時化休ミ	雨時化休ミ	雨時化休ミ	雨時化休ミ		時化ノ爲休ミ	時化ノ爲休ミ		
				風波強カリ	風波強カリ			強風ノ爲メ休ミ	強風ノ爲メ休ミ	強風ノ爲メ休ミ	強風ノ爲メ休ミ	強風ノ爲メ休ミ		時化ノ爲休ミ	時化ノ爲休ミ		

全 八 日	全 七 日	全 六 日	全 五 日	全 四 日	全 三 日	全 二 日	十一月 一日	全 三十一 日	全 三十 日	全 廿九 日	全 廿八 日	全 廿七 日	全 廿六 日	全 廿五 日	全 廿四 日	全 廿三 日	全 廿二 日					
五時 六時半	二四時 五時 佐瀨鼻西北 一里半 全北西三里							佐瀨沖		三一 時 二時 三時 四時 五時 六時 七時 八時 九時 十時 十一時 十二時 十三時 十四時 十五時 十六時 十七時 十八時 十九時 二十時 二十一時 二十二時 二十三時 二十四時 二十五時 二十六時 二十七時 二十八時 二十九時 三十時 三十一時	五 時 二 時 三 時 四 時 五 時 六 時 七 時 八 時 九 時 十 時 十一 時 十二 時 十三 時 十四 時 十五 時 十六 時 十七 時 十八 時 十九 時 二十 時 二十一 時 二十二 時 二十三 時 二十四 時 二十五 時 二十六 時 二十七 時 二十八 時 二十九 時 三十 時 三十一 時	二 九 時 十 時 全		四 時 五 時 全	五 時 四 時 三 時 二 時 一 時	二 九 時 十 時 全		二 九 時 十 時 全		二 九 時 十 時 全		二 九 時 十 時 全
晴	晴							晴	曇	微雨	晴	曇	雨	曇	微雨	曇	晴	晴				
北東和南 西	北東和南 西							北和東 南	東北強	東北和全	全	北微東 南	北東強	南軟 北乃至全	北軟 東	北西軟 南	西北強					
全急	全急							急	急	急	緩	急	急	全急	急	急	急	急				
								濁	全	清	濁	濁	全	清	清	清	清	清				
全 たれくち	全 きびなし いわし さわばし									全 あわし いわし さわばし あま	全 あわし いわし さわばし あま	全 あわし いわし さわばし あま	全 あわし いわし さわばし あま	全 あわし いわし さわばし あま	全 あわし いわし さわばし あま	全 あわし いわし さわばし あま	全 あわし いわし さわばし あま	全 あわし いわし さわばし あま				
六斗	四石									一石	六斗	三斗		二石	廿二石	三斗						
全 きびなれくち 可ナレハ悉ク殺セリ	全 きびなれくち 可ナレハ悉ク殺セリ						北東雨時化	魚剛カズ網ヲ使用セズ	風波高ク沖出セス	航セシニ腕木半ヲ流失セリ	流早ク正下頃ニハ流サレ折リ 少ナシ 潮流緩ニ風微ニシテ好夜ナリシモ附魚	潮流早クシテ魚付カズ E午過ぎヨリ	雨時化ノ爲メ休ミ	あちさば最多量ニ混セリ	初二回ハあちさば多量後三回ニハ夥シ クたれくちきびなれナ混セリ							

全九日
終漁網干船掃除ヲナサシム

貯藏日誌

漁月日	時刻	獲	籠數	着港時刻	魚種混合ノ割合	貯藏日數	斃死ノ狀況	記事
九月廿二日	八時及九時		一	廿三日 前二時	小いわし 最多 あぢさば	十五日	初日約 石ヲ入ル 以下五日位斃死セシモ 後ハ斃死セ	
九月廿三日	十時		同	前四時	小いわし 七	十四日	八升位入レ二升位死シ 四日以後ハ死	
十月三日	十二時卅分		同	前四時	うるめ 六	十四日	うるめ多ク混セシモ 風波高カリシ爲 殆ト全部斃死セリ	
十月七日	二時三十分		二	前八時	いわし 九	十日	約二石位ノいわしヲ入 レシニ過量ノ爲斃死セシモノ 二斗余ニシテ後死セ	
十月九日	三時半		二	前九時	殆全部 いわし 一	五日	各一石五斗位ヲ入レ 初日各五斗位死シ 五日以後ハ殆ト斃死セ	大羽ヲ混ス
全 廿四日	五時		一	前廿五日	いわし 五	同日	一石五斗位入レ たれくちうるめ多量 ナリシ爲最後迄約 五斗位死セリ	
全 廿五日	九時、十時		一	前廿六日	たれくち、あぢさば 六	三日	一石位ヲ入レ 初日二升位死シ 後斃死	
全 廿八日	四時		一	前廿九日	あぢさば 五	二日	一石位ヲ入レ 初日二升位死シ 後斃死	
全 廿九日	九時		一	前廿九日	あぢさば 七	一日	全	

鯧揚繰網貸與試験

本試験ハ三十六年度ヨリ繼續ノ事業ニシテ前二ケ年度共ニ有明灣ニ於テ試験ヲナシタル結果該地方ノ當業者中ニハ大ニ本網ノ良漁具タルヲ覺リ已ニ製作セルモノ數張ニ及ヒタレトモ之レ等當業者ハ其使用法ニ熟練ナル漁夫ナキ爲メ大ニ困難ヲナシツゝアルノミナラズ同一灣ノ沿岸村ト雖モ距離遠キ処ノモノハ未タ本網ヲ熟視シタルコトナキモノ多キニ依リ一ハ熟

貯藏日誌、鯧揚繰網貸與試験、漁業日誌

練ナル漁夫ヲ養成スルト一ハ尙ホ一般ノ當業者ヲシテ益本網ノ良好ナルコトヲ確信セシムル爲メ本年度モ引續キ該灣ニ於テ試験ヲナスノ必要ヲ認メタルヲ以テ肝屬郡高山村波見ノ當業者ニ貸與シ試験ヲナサシメタリ然レトモ本年ハ例年ニ比シ荒天多ク本場ヨリ試験地マテ網ヲ廻漕スルニ多クノ時日ヲ費シ編刺網漁期ニ接迫シタル爲メ試験ニ從事スルコト二十二日間此間沖出ヲナスコト十九日ニ止マリシハ遺憾ニ堪ヘサル処ナリト雖モ本網使用ノ經驗ヲ有セサル漁夫ヲ以テシテ尙且ツ相當ノ漁獲ヲナシタルニ付キ益本網ノ良好ナルコトヲ信スルモノ多キノミナラス乗込漁夫ニハ其使用法ヲ習得セシメタルニツキ三十九年度ニ於テハ當業者ノ利スル処大ナルヘキヲ確信ス

漁業日誌

月日	時刻	漁場	天候	風位	風力	潮流	海水	魚種	獲物	記	事
十二月四日	午前十時	柏原沖	晴	西	軟	南東	清	ナ	シ	網使用法ヲ教授ス	
同日	午前八時	川東沖	曇	同	同	南	同	まいわし	千二百尾		
同日	午前八時半	ビロー島西北	晴	北西	同	南東	同	まいわし	三百尾	魚群ヲ認メス	
同日	午前八時	大崎沖	晴	同	疾	同	濁			魚群ヲ認メカリシモ練習ノ爲メニ使網シタリ	
同日	午前七時	川東沖	晴	北西	軟	南東	同	まいわし	三千五百尾		
同日	午前七時		同	同	同	同	清			游泳速ニシテ圍繞スルコト能ハス	
同日	午前十分		同	同	同	同	同	まいわし	二百尾		
同日	午前十一時半		同	同	同	同	同			游泳速ニシテ圍繞スルコト能ハス	

鯉餌料貯藏試験

本試験ハ三十六年度ヨリ繼續ノ事業ニシテ目的ノ事項中既ニ解決シ得タルモノアリト雖前年度試験ノ結果ニ因リ唧筒ニ改造ヲ加ヘタルト船籠試験ニ復敷ヲ要スル點アリシニ依リ本年度ハ此二点ヲ主トシ併セテ活籠試験ヲナスコト、シタリ
活籠試験

前二ヶ年間ハ川邊郡西加世田村野間池ニ於テ試験ヲナシタルモ本年度ハ同郡同村片浦ニ於ケル本場ノ新築モ既ニ落成シ同所ニ移轉シタルニツキ片浦灣ニ於テ試験ヲナスコト、シ先ツ其準備トシテ活籠甲乙丙ノ三個（丙ハ棕梠緘子織製トス）ヲ例年ノ如ク浮設シ捕獲シタル鯉ハ此内ニ放養シ籠内ノ生活ニ馴レシムルコト、ナシタリ

第一日 片浦灣外船子瀬ニ出漁シタレトモ潮流緩ニ失シテ網ヲ使用スルニ困難ヲ極メ網ノ使用度數八回ニシテ鯉僅カニ三升餘ヲ得テ歸港シ甲籠ニ放養シタリ

第二日 船子瀬ニ出漁シ鯉凡ソ二升許ヲ得テ歸港シ乙籠ニ放養シタリ

前日甲籠ニ放養シタルモノハ散漫シテ個々ニ游泳シ体色ニハ異狀ヲ認メス

第三日 高崎瀬ニ出漁シ使網三回ニ及ヒタルモ潮流急激ニ失シテ僅カニ數尾ヲ捕獲シタルニ過キス依テのう瀬ニ至リタレトモ鯉ヲ認メサルニツキ再轉シテ船子瀬ニ到リ使網四回ニシテ鯉四升餘ヲ得テ歸港シ甲籠ニ放養シタリ

籠内ヲ檢スルニ前ニ放養シタルモノハ未タ籠内ノ生活ニ馴レス且ツ甲乙兩籠共ニ斃死シタルモノ各々三十尾余ナリ

第四日 船子瀬ニ出漁シタリシニ潮流緩ニ失シテ網ヲ使用スルコト能ハサルニツキのう瀬ニ到リタルモ鯉ヲ認メス依テ高崎瀬ニ轉シタリ然レトモ潮流猶ホ極メテ緩ニシテ網ヲ使用スルコト能ハス故ニ爰ニ投錨スルコト三時間餘午后三時ニ至リ潮流稍急行スルニ至リタルニツキ網ヲ使用スルコト五回鯉六升余ヲ得テ歸港シ丙籠ニ放養シタリ

第五日 漁網破損シタルニツキ沖出ヲ休ミ之レカ修理ヲナス

前日丙籠ニ放養シタルモノヲ檢スルニ斃死シタルモノ三升余ニ及ヘリ其原因那邊ニ存スルカ明確ナラサルモ惟フニ前日歸港シタルハ日暮時ナリシニツキ鯧ヲ籠内ニ放養スルニ當リ取扱ニ丁重ヲ缺キタル嫌ナキニアラサリシト又一ハ光線ノ透徹不良ナルヲ以テ鯧ハ闇ニ乘シ急激ニ四方ニ散游セントシ其勢ヲ以テ烈シク籠壁ニ衝突シテ負傷ヲナシ遂ニ斃死スルニ至リタルモノト如シ

第六日 船子瀬ニ出漁シタルニ潮流緩ニ失シテ使網ニ適セサルニツキ高崎瀬ニ至リタルニ潮流急激ニシテ亦使網ニ適セス依テ投錨シテ潮流ノ適度トナルヲ待チ午后三時半ヨリ使網シ鯧凡ソ二升餘ヲ得テ歸港シ乙丙籠ニ分養シタリ

丙籠内ヲ檢スルニ斃死シタルモノ多數アリ

第七日 船子瀬ニ出漁セシニ潮流適度ニシテ鯧ノ游泳多シト雖漁船多クシテ相互ニ妨害トナリ捕獲スルコト能ハス午前九時過キヨリ全ク鯧ノ游泳ヲ認メス午后二時ニ至リ再ヒ鯧ノ游泳ヲ認メタルニツキ使網六回ニシテ鯧四升餘ヲ得テ歸港シ甲乙籠ニ分養シタリ

前ニ甲籠ニ放養シタルモノヲ檢スルニ斃死セルモノ二十三尾ニシテ生存セルモノハ体色淡黄ニシテ游泳極メテ活潑ナリ丙籠ノモノヲ檢スルニ大形ノ鯧ハ多ク斃死シ生存セルモノハ多クハ小形ノモノナリト雖モ游泳甚タ活潑ナリ

第八日 船子瀬ニ出漁シ使網七回鯧三升餘ヲ得テ歸港シ乙籠ニ放養ス

甲乙籠ヲ檢スルニ兩籠共ニ斃死シタルモノ各ニ合餘ニシテ生存セルモノハ游泳活潑ナリ

第九日 風雨強ク出漁スルコト能ハス籠内ヲ檢スルモ濁潮ノ爲メ魚体ヲ認ムルコト能ハス

第十日 風雨連續シテ出漁スルコト能ハス籠内ヲ檢スルモ海水赤濁ノ爲メ分明ニ魚体ヲ認メ得カリシモ遇々水面ニ浮上セル二三尾ノモノハ体色蒼青ニシテ游泳極メテ不活潑ナリ惟フニ之レ濁潮ノ爲メナルヘシ

第十一日 前日ニ異ナルコトナシ

第十二日 船子瀬ニ出漁シ使網五回ニシテ鯧四升五合餘ヲ得テ歸港シ甲乙籠ニ分養ス
籠内ノモノヲ檢スルニ体色蒼青ニシテ散漫シテ游泳シ且ツ極メテ不活潑ナリ

第十三日 船子瀬ニ出漁セシニ波浪高クシテ使網困難ナリシモ極メテ大ナル鯧二升餘一二年兒混合シテ二升餘ヲ捕獲シ大ナルモノハ甲籠ニ小ナルモノハ乙籠ニ放養シタリ

前ニ籠内ニ放養セルモノヲ檢スルニ三籠共ニ斃死シタルモノ各二三十尾宛ニシテ生存セルモノハ游泳稍活潑トナリ体色モ褐色ナルモノアリ又青色ナルモノアリテ數日來ノ苦痛ヲ過半快復シ得タルモノ、如シ

第十四日 船子瀬ニ出漁シ使網三回ニシテ多量ノ鯧ヲ獲タレトモ悉ク一年兒ノミニシテ試験用ニ適セス故ニ一時捕獲ヲ中止シ午前十一時ヨリ再ヒ網ヲ使用シ一、二年兒ノ混合シタルモノ四升餘ヲ獲テ歸港シ乙丙籠ニ分養シタリ

前日甲籠ニ放養シタルモノハ游泳活潑ニシテ斃死シタルモノモ五六尾ニ過キス乙丙籠ノモノハ群集シテ游泳シ大ニ活潑トナレリ

第十五日ヨリ第二十日マテ唧筒試験ヲナシタリ

第二十一日 船子瀬ニ出漁シ使網十三回ニシテ鯧二升餘ヲ得テ歸港シ乙籠ニ放養シタリ

第二十二日 船子瀬ニ出漁シ鯧二升餘ヲ得テ歸港シ甲籠ニ放養ス

第二十三日 船子瀬ニ出漁シタレトモ北風強ク網ヲ使用スルコト能ハス空シク歸港シタリ

第二十四日 船子瀬ニ出漁シ鯧凡ソ三升餘ヲ得テ歸港シ乙籠ニ放養ス

前ニ籠内ニ放養セルモノヲ檢スルニ各籠共ニ斃死シタルモノ五合餘ニ及ヒシモ生存セルモノハ漸次籠内ノ生活ニ馴レ能ク一團トナリテ楕圓形ニ游泳シ体色モ青色ナルモノアリト雖褐色又ハ淡黄ナルモノ多シ

第二十五日 船子瀬ニ出漁シ鯧二升餘ヲ得テ歸港シ甲乙籠ニ放養ス

第二十六日 船子瀬ニ出漁シ鯧二升五合餘ヲ得テ歸港シ甲乙籠ニ分養シタリ

各籠内ヲ檢スルニ斃死シタルモノ甲籠ヨリ一合乙籠ヨリ一合丙籠ヨリ三合餘ヲ得タリ

唧筒試験

本試験ハ三十六年度ニ於テハ試験ヲ重ヌルコト五回毎回徹宵シテ業ヲ行ヒ非常ナル苦心ヲナシタリシモ其結果得タル処ハ只活樽内ノ鯧ガ斃死スル原因ノ主要ナル点ハ唧筒吐水口ノ構造ニ大ナル關係ヲ有スルコトヲ知リタルニ止マリシモ三十七年度ニ於テハ吐水口ノ構造モ簡畧ニシテ稍良好ナルモノヲ得タリ然レトモ本唧筒ハ全部金屬製ナルニツキ使用ノ際金屬相互打敷ノ響大ニシテ之レカ爲夜半ニ至レハ活樽内ノ鯧ハ驚怖シテ水面ニ浮上スルコトヲ知り得タルヲ以テ打響ヲ發スル恐ナル個所ニハ厚キ獸革ヲ用フルコトニ改造シタリシニ大ニ其効ヲ奏シ夜間鯧ノ浮上スルモノ極メテ少ク從來ノ潮換ヘ方ニ依レルモノト異ナルコトナキニ至レリ又吐水口ノ構造ハ種々ナル形状ニ製作シテ試験ヲナシタルモ結局前年度ノモノ最モ簡畧ニシテ且ツ良好ナルコトヲ確認シタリ今左ニ本試験中鯧生活ノ狀況及斃死ノ數量等ヲ詳記スヘシ

第一回試験

第一日 活籠内ニ於テ十數日間馴養シタル鯧ヲ活樽ニ相當スル分量ヲ移シ午前九時ヨリ唧筒ヲ使用シタルニ午後三時マテニ斃死シタルモノ凡ソ五勺餘アリ午後六時頃ニハ多少水面ニ浮游スルモノアリシモ其他ハ群集シテ游泳シ且ツ活潑ナリ

第二日 午前一時頃稀ニ水面ニ浮上スルモノアリシモ樽底ニ當レル船内ノ汚水ヲ除去セシニ直ニ浮上セサルニ至レリ黎明ノ頃ニモ亦稀ニ浮上スルモノアリシモ其他ニハ異狀ナク午前七時樽内ヲ檢シ斃死シタルモノ凡ソ一升ヲ得タリ晝間ハ能ク群集シテ活潑ニ游泳シ夕刻ニ至ルマテ斃死シタルモノ凡ソ五勺餘ヲ出セリ

第三日 黎明以前ニハ浮上スルモノナカリシモ午前六時頃ニ至リ僅カニ浮上シタルモノアリ午前七時樽内ヲ檢シ斃死シタ

ルモノ凡ソ三合餘ヲ得タリ晝間ノ狀況ハ前日ト異ナルコトナク斃死シタルモノハ夕刻迄ニ一合餘ナリ

第四日 黎明以前ニハ浮上シタルモノナシ午前七時樽内ヲ檢シ斃死シタルモノ凡ソ五合ヲ得タリ午前中ハ前日ト異ナルコトナカリシモ午后三時ヨリ風雨襲來シ夕刻ニ至リテハ海水大ニ濁リ隨テ鯨モ苦痛ヲ感スルモノ、如ク漸次游泳活潑ナラサルニ至リ夜半ニハ多少浮上スルモノアリタリ

第五日 黎明ノ頃水面ニ浮上シタルモノハ第一日以來本朝ヲ以テ最モ多シトス惟フニ之レ海水濁濁ノ爲メ鯨ノ疲勞シタルニ依ルナルヘシ午前七時樽内ヲ檢シ斃死シタルモノ三合餘ヲ得タリ同八時頃ニ至リテハ風雨益々激甚トナリ船ノ碇泊困難ニシテ遂ニ試験ヲ繼續スルコト能ハサルニ依リ樽内ノ鯨ハ再ヒ活籠内ニ放養シタリ

第二回試験

第一日 前回ト異ナリ新タニ捕獲シタル鯨凡ソ一斗ヲ活樽ニ放養シ午前十一時ヨリ唧筒ヲ使用シタリシニ暫時ニシテ能ク一團トナリテ圓形ニ游泳スルニ至リ夜ニ入りテモ水面ニ浮上スルモノナリ斃死シタルモノハ夕刻マテニ三合餘ヲ得タルノミナリ

第二日 午前五時ヨリ六時ノ頃稀ニ水面ニ浮上スルモノアリ午前七時樽内ヲ檢シ斃死シタルモノ二合ヲ得タリ晝間ノ狀況ハ前日ト異ナルコトナク夕刻ニ至リテ多少水面ニ浮上スルモノアリシモ日没後ハ全ク沈降シ斃死シタルモノモ二合餘ニ過キス

第三日 午前六時頃稀ニ浮游スルモノアリシモ其他ニハ異狀ナク午前七時樽内ヲ檢シ斃死シタルモノ凡ソ一合ヲ得タリ晝間ノ狀況ハ能ク一團トナリテ游泳シ前日ト異ナルコトナシ午後五時迄ニ斃死シタルモノ二合餘ニシテ日没時ヨリ夜ニ入りテモ水面ニ浮上スルモノナシ

第四日 午前一時少シク水面ニ浮上スルモノアリシモ樽底ニ當レル船内ノ汚水ヲ除去シタルニ再ヒ浮上セサルニ至レリ午

前七時樽底ヲ檢シ斃死シタルモノ凡ソ二合ヲ得タリ

前日來ノ雨天マテ海水濁リ鯨ハ漸次疲勞スルノ傾キアルヲ以テ試験船ノ位置ヲ海水ノ清淨ナル処ニ變更シタルニ暫時ニシテ快復シ游泳活潑トナリタリ

午後三時マテニ斃死シタルモノ一合餘ヲ得タリ夕刻ニ至リテ多少水面ニ浮上スルモノアリシモ夜ニ入リテハ浮上スルモノナシ

第五日 午前五時頃ニハ多少浮上スルモノアリシモ他ニ異狀ナク午前六時樽内ヲ檢シ斃死シタルモノ凡ソ三合餘ヲ得タリ
午前十時頃ヨリハ風雨次第ニ強ク船ノ碇泊ニ困難ナルノミナラス漁夫ハ少數ノ人員ニテ已ニ四晝夜間繼續シテ勞働セシメタル後ナルニ尙ホ此荒天ニ晝夜勞働ヲ繼續スルコトハ到底堪ヘ得サルニ至リタルヲ以テ遺憾ナガラ試験ヲ修了セシメタリ

船體試驗

前年度試験ノ結果船ノ動搖激甚ナル時ハ鯨ハ活ケ間ノ四壁ニ突當リテ吻頭ニ傷ヲ生シ如斯スルコト數次ナレハ遂ニ斃死スルニ至ルノ恐レアリシニツキ本年度ハ海藻ヲ編ミテ暖簾狀ノモノヲ製作シ其上下兩端ヲ巾一寸厚二分ノ板ヲ以テ挟ミ之ヲ活間ノ四壁ニ釘着シ活ケ籠試驗ノ際使用セシニ其結果良好ナリシニツキ本試験ニ於テモ之レヲ使用スルコト、シ先ツ遠洋航行ノ準備ヲ整ヘ活ケ籠内ニテ十數日間馴養シタル鯨多量ヲ船活ケ間ニ移シ此日ハ片浦灣内ニ碇泊シタリ

第二日 午前六時片浦灣ヲ拔錨シ宇智島近海ニ向テ航行シ午后一時鷹島ノ北端ヲ過キ同十一時二十分宇智島ニ到着シタリ
此日ハ天氣晴朗ニシテ軟風北方ヨリ吹キ來リ萬帆ニ風ヲ孕マシテ帆走シタリ即チ當日ハ靜穩ナル航海ニシテ船ノ動搖少カリシト雖活ケ間内ノ鯨ハ群集シテ橢圓形ニ游泳シ狭小ナル容器内ノ生活ニ能ク馴レタルモノ、如ク斃死シタルモノモ午前七時ニ三合五勺全十一時ニ五勺午後六時ニ五勺余ヲ出セルノミ

第三日 北々東風ニシテ風力弱ケレトモ雨天ニシテ遠海ニ航行スルコト能ハサルニツキ強テ港外ノ波浪高キ心ニ到リ船ヲ動搖セシメタリ此日斃死シタルモノハ午前七時ニ五合午後五時ニ一合余ナリ

第四日 風力强ハラサルモ雨天ニシテ遠海ニ航行スルコト能ハス此日斃死シタルモノハ午前七時ニ三合午後六時ニ二合余ナリ

第五日 晴天トナリシニツキ風力强カリシモ島ノ近海ヲ航行セシニ鯨ハ港内ニ碇泊セシ時ヨリモ却テ活潑ニ游泳スルノミナラス能ク群集セリ此日斃死シタルモノハ凡テ五合余ナリ

第六日 晴天ニシテ風力强カラサルニ依リ遠海ニ航行シ大ニ鯨ノ状態ニ注意セシニ船舳ノ傾斜非常ニ甚大ナラサル限リハ其動搖ニ隨テ活ケ間内ノ潮水能ク交換スルニ依リ鯨ノ爲ニハ却テ良好ニシテ游泳大ニ活潑ナリ此日斃死シタルモノハ凡テ五合餘ナリ

第七日 前夜ヨリ天候險惡トナルノ前兆顯ハレタルニツキ良港ナキ洋海ノ孤島ニ永ク碇泊スルノ危険ヲ恐レ午前十時宇智島ヲ出帆セシニ此時東風強カリシモ午后ニ至リテ軟風トナリ同日午後十一時鯨島片野浦ニ入港シタリ

此日活ケ間内ノ鯨ハ群集シテ橢圓形ニ游泳シ且ツ活潑ナリ而シテ斃死シタルモノハ夕刻マテニ三合余アリタリ

第八日 午前七時片野浦ヲ出帆セシニ全七時半ヨリ俄然強西風襲來セシノミナラス大雨加ハリシニヨリ困難ヲナシタルモ後遂ニ中甑ニ入港シタリ

午后三時活ケ間内ヲ檢スルニ斃死シタルモノ五合許ニシテ殘存セルモノハ初メ放養シタルモノ、半ニ過キス而シテ前二ヶ年間試験ノ結果大ナル容器ニ少量ノ鯨ヲ放養スレハ永ク斃死スルモノニアラサルコトハ已ニ明白ニシテ爰ニ殘存セル鯨ニ對シテハ試験ヲ繼續スルノ必要ヲ認メサルニ依リ本日ヲ以テ試験ヲ終了シタリ

結果

本試験ノ主旨ハ己ニ三十六年度事業報告ニ詳記セル如クニシテ其方法ヲ數項ニ別テ試験シタルニツキ今其各項ニツキ試験ノ結果ヲ摘記スレハ左ノ如シ

第一 鯧ヲ活ケ樽ニ放養シタル后潮換ヘヲナスニ手動唧筒ヲ用ヒテ勞力ヲ省クコト

此方法ハ本試験中最モ苦心ヲナシタルニモ拘ラス三十六年度ニ於テハ良果ヲ收ムルコト能ハサリシモ三十七年度ニ於テハ稍々曙光ヲ認メ三十八年度ニ於テハ大ニ好結果ヲ収メ得タリ即チ前ニ記載スル如ク二回ノ試験ヲナシ各回五日間ツキ繼續シタルモ此間鯧生活状態ヨリ斃死シタルモノノ割合等ニ至ルマテ從來ノ潮換法ニ依レルモノノ結果ト異ナルコトナキノミナラス大ニ勞力ヲ省キ得ルヲ以テ今仮ニ本法ヲ採用シ一艘ノ漁船ヨリ漁夫三人ヲ減少シ得ルモノトスルモ之レカ食料及漁獲配當金等ヲ計算スル片ハ其經濟上ノ利得ハ實ニ大ナルモノニシテ輕々ニ看過スヘキモノニアラス況ンヤ乗込員中僅カニ二三ノ不足ヲ生スルモ之レカ爲メ出漁シ得サルコトアルニ於テオヤ

第二 鯧ヲ活ケ籠内ニ入レ一定ノ場所ニ飼養スルコト

此方法ハ從來本縣當業者ハ不可能ノコトニナシタリシモ試験ノ結果ニ依レハ捕獲當時ノ取扱ヲ丁重ニシ活籠ヲ浮設スル処ハ海水ノ流通好ク且ツ風雨ニ際シ甚シク赤濁セサル限リハ鯧八十數日間能ク活潑ニ生活スルノミナラス其斃死スルモノモ三分ノ一以內ニシテ三分ノ二ハ實用ニ供シ得ルモノナルコトヲ確認シタリ

第三 活ケ籠内ニテ馴養シタル鯧ヲ船活間ニ移シ凡ソ幾日間位生活シ得ルモノナルヤ

此方法ハ三十六年度ニ於テハ鯧運搬試験ノ傍ラ施行シタルニ過キカリシニツキ其成績モ亦見ルヘキモノナカリシモ三十七年度ニ於テハ活ケ籠内ニテ十日間以上馴養シタル鯧ヲ用ヒ四晝夜繼續試験ヲナシタリシニ好果ヲ得タルヲ以テ本年度ニ於テモ亦活籠内ニテ能ク馴養シタルモノヲ用ヒ一週間繼續試験ヲナシタルニ此間ニ於テ斃死シタルモノハ最初放養シタルモノノ半ニ過キス大ニ良果ヲ収メ得タリ然レトモ茲ニ最モ注意スヘキハ從來ノ樽飼法ニ依レルモノト雖モ鯧ト鯧ヲ同一大ノ

樽ニ放養スルハ鯧ハ鯧ノ凡ソ三分ノ一ヲ適度トスルカ如ク船活間ニ於テモ亦之レト同比例ヲ以テスヘシ若シ徒ラニ多量ヲ放養スルハ之レカ爲メニ鯧全部ヲ斃死セシムルコトアルヘシ

第四 熊本縣天草郡地方ニ飼養セル鯧ヲ購入運搬シ鯧ト對比シテ其利害得失ヲ見ルコト

此方法ハ三十六年度ニ於テ試験ヲナシタル結果漁船長サ七尋四尺五寸巾八尺一寸五分ノモノ、胴ノ間ヲ前後ニ區割シテ籩トナシ前方ノモノハ長サ三尺四寸最大巾四尺四寸上口巾二尺一寸深サ二尺五寸后方ノモノハ長サ四尺七寸最大巾四尺六寸口中三尺五寸深サ二尺六寸ニ作成シ之レニ活キ鯧五斗乃至六斗ヲ放養シ順風ニ乗スレハ一晝夜乃至二晝夜ニテ往返シ得ヘク又鯧ハ餌料トシテ鯧ニ勝ルコト大ナルノミナラス之レヲ船内ニ飼養スルニモ鯧ニ於ケルカ如キ勞力ヲ要セサルハ已ニ世上ニ認知セラル、処ナルヲ以テ當業者ハ將來運搬船ヲ派シテ鯧ヲ購入シ之レヲ自村ノ活籠内ニ放養シ置キ所要ノ時ニ當リテ供給スルコト、シ從來ノ如ク釣漁船自ラ遠ク牛深ニ至リ數日間ヲ空費スル等ノコトナカラシムルニ至ラハ經濟上ノ利得實ニ大ナルヘシ

鱒流網貸與試験

本試験ハ三十七年度ヨリ繼續ノ事業ニシテ本年度ハ薩摩郡甞島近海ニ於テ試験ヲナサシムルコトセシニ八月初旬同島里村沖ニ出漁スレコト二夜鱒羽鯉等多少ノ漁獲ヲナシタルモ第三日目ニ使用中網ハ手元百尋余ノ処ヨリ切斷シ爾余四百尋許ハ流失シタリトノ報ニ接シタルニツキ所々搜索中十日間餘ヲ經テ拾得シタルモノアリタルモ網ハ相纏絡シテ一團トナリ又破損セシトコロ多キノミナラス魚肉ノ腐敗シタル臭氣及油ノ附着甚シク再ヒ本網ヲ使用シ得ルマテニ修理スルハ容易ノ業ニアラサルヲ以テ遂ニ本試験ヲ中止シ専ラ網ノ修理ヲナサシメタリ

同年十二月下旬ヨリ川邊郡東加世田村小湊ノ當業者ニ貸與セシニ日置灣内ニ出漁シ鱒鯉等ノ漁獲少カラサルモ三十九年度

ニ繼續出漁スルニ依リ其結果ハ同年度事業報告ニ記載スヘシ

羽鯉巾着網試験

本試験ハ三十六年ヨリ繼續ノ事業ニシテ同年度ニハ川邊郡西加世田村近海ニ於テ試験ヲナシ三十七年度ニ於テハ薩摩郡甑島近海ニ於テ七月中旬ヨリ九月中旬マテ試験ニ從事シ其間只晝間沖出ヲナスノミナラス夜間焚入漁ヲモ試ミタルモ不幸ニシテ一回モ羽鯉群ニ遭遇セス隨テ漁獲皆無ナリシニツキ本年度ハ初夏同島近海ニ産卵ノ爲メ來遊スル鯉ヲ逐驅シ來ル羽鯉ヲ捕獲スルノ目的ニテ六月初旬ヨリ八月中旬マテ試験ニ從事シタリシニ前年度ト異ナリ魚群ニ遭遇スルコト屢々ナリシモ其鯉ヲ逐テテ水面ニ潑躍スルハ多クハ暗礁ノ直上又ハ其附近ニシテ意ノ如ク網ヲ使用スルコト能ハス隨テ豫期ノ漁獲ヲナスコト能ハカリシハ實ニ遺憾ニ堪ヘサル処ナリ

日誌

自六月六日至六月八日

六月六日本場試験用網船二艘ニ巾着網及附屬品ヲ分載シ午前八時本場ヲ解纜シ串本野村島中港及川内川口ヲ經テ八日午前八時甑島里港ニ到着セリ

自六月九日至六月十一日

漁夫傭入レ及出漁準備等ヲナス

六月十二日 雨天 北東和風

早朝ニハ雨天ト稱スル程ニモアラサリシニツキ漁船ニ網ヲ積込マシメ午前八時三十分解纜シ同十時半里村西浦ニ於ケル鯉漁場金山沖ニ至リシモ魚群ヲ認メサルノミナラス風位漸次南ニ還リ空天益々曇リ大雨來ルノ恐レアルニ依リ歸港シタリ

六月十三日 晴天 雨強風

早朝ハ風強カラカリシニツキ午前五時ヨリ出船シ金山沖ニ到リシニ鱚小魚ヲ追フテ飛躍シツ、アルモ水深僅カニ七八尋底質岩石ニシテ投網スルコト能ハサルニ付魚群 他所ニ移動スルヲ待チシモ遂ニ水底ニ沈降シ復浮上セス故ニ已ムヲ得ス砂底ノ処ニ到リ網使用法ノ練習ヲナシわかひ五尾だつ二尾いか三尾みしまおこせ一尾ヲ獲タリ此時風力次第ニ強クシテ從漁シ能ハサルニ依リ午前十時歸港シタリ

六月十四日 強雨 南西和風

雨天ノ爲メ沖出ヲナサス

六月十五日 強雨 北東和風

雨天ノ爲メ沖出ヲナサス

自六月十六日至六月廿四日

本場新築落成式舉行ノ爲メ監督員歸場シタルニツキ休業シタリ

六月二十五日 晴天 北軟風

午前六時出船ツる濱沖ニ到リシニまんばノ飛躍スルヲ見タリシモ淺瀬ニシテ網ヲ使用スルコト能ハス故ニ他方ニ於テ練習トシテ網ヲ使用スルコト三回雜魚數尾ヲ獲テ歸港シタリ

六月二十六日 晴天 無風

午前七時出船シ前日あらふどニテまんば群ヲ見タリト云ヒシモノアリシニ依リ同所ニ行キタルモ魚群ヲ認メス故ニ後會根ヨリノふせ鼻附近ニ到リシモ尙ホ魚群ヲ認メサルニツキ午後五時歸港シタリ

六月二十七日 雨天 南東和風

雨天ノ爲メ沖出ヲナサズ

六月二十八日 晴天 無

ねりび群ヲ搜索セシメン爲メ小船ヲ隨ヘテ午前六時出船シ同十時あらふどニ到リシニまんばノ大群さびなヲ追ッテ飛躍セ
ルニ遭遇シタルニツキ直チニ網ヲ使用シ（水深十五六尋底質砂）まんば百七十三尾ヲ獲タルニ依リ大ニカヲ得尙ホ所々ノ
海面ヲ搜索シタレモ魚群ヲ認メス午後四時歸港シタリ

六月二十九日 雨天 南東強風

雨天ノ爲メ沖出ヲナサス

六月三十日 雨天 南強風

前日ニ全シ

七月一日 雨天 南強風

前日ニ全シ

七月二日 曇天 南強風

前日ニ全シ

七月三日 快晴 南東和風

午前七時出船シあらふどニ至リシニ真鯨群さびなヲ逐フテ飛躍セルモ暗礁ノ直上ニシテ網ヲ使用スルコト能ハサルニ依リ
他所へ移動スルヲ待チシモ遂ニ沈降シタルマ、復浮上セス此他魚群ヲ認メサルニツキ午後四時歸港シタリ

七月四日 雨天 南々東強風

早朝ハ曇天ニシテ風力弱カリシニツキ午前六時三十分出船シあらふど近海ニ到リタレトモ魚群ヲ認メサルノミナラス漸次

風力強ク且ツ雨天トナリタルヲ以テ午前十一時歸港シタリ

七月五日 雨天 南強風

風雨ノ爲メ沖出ヲナサズ

七月六日 雨天 西和風

前日ニ全シ

七月七日 曇天 西軟風

午前七時出船シ金山沖ながめ濱沖ニ於テ所々ニ魚群ヲ認メタルモ其游足速ニシテ網ヲ使用スルノ違ナシ

七月八日 曇天 南西和風

午前六時二十分出船シあらふど及金山沖ニテ魚群ヲ搜索シタルモ稀ニ一二尾ノ浮漁ヲ見タルノミニシテ網ヲ使用スルニ至

ラス午後五時半歸港シタリ

七月九日 快晴 南西和風

網修繕ノ爲メ沖出ヲナサズ

七月十日 曇天 南東軟風

午前六時三十分出船シ金山沖ニ至リ羽鯉群ノ浮游セルニ遭遇シ直ニ張網ニ着手シ已ニ其半ヲ投入セシニ魚群忽チ沈下シテ

其行ク処ヲ知ラス故ニ已ムヲ得ス網ヲ繰揚ケ所々搜索シタレトモ遂ニ見出スコト能ハスシテ歸港シタリ

七月十一日 晴天 西軟風

午前五時出船シ金山沖ニ至リタレモ終日魚群ヲ認メサルニ依リ午後五時歸港ス

七月十二日 晴天 南西和風

午前六時出船シあらふと沖ニ至リシニまんばノ飛躍セルモノアリ依テ直ニ網ヲ使用シまんば四十尾だつ四十尾ヲ獲タリ

七月十三日 晴天 南軟風

午前六時出船シ金山沖ヨリのおせ鼻附近ニ到リタルモ魚群ヲ認メス

七月十四日 晴天 東和風

午前七時出船シ金山沖ニ到リタルモ魚群ヲ認メスシテ歸港シタリ

七月十五日 快晴 南微風

午前六時出船シまいくるすニ到リシニ大鯨ノ飛躍スルヲ見タレト網船張網ノ位置ニ達セサル前ニ沈下シテ其行ク処ヲ知ラス又所々ニ小魚ヲ追フテ飛躍スルモノヲ見タリシモ游足速ニシテ張網ニ遠アラス

七月十六日 快晴 南微風

午前六時三十分出船シまいくるすニ到リシニまんばノ飛躍スルヲ見直ニ張網ニ着手セシニ眞網船ニ過失アリシ爲完全ニ使用スルコト能ハス中途ヨリ網ヲ繰揚ケタリ之レヨリ後ハ魚群ヲ認メサリシニツキ午三時歸港シタリ

七月十七日 曇天 北東和風

午前六時出船シまいくるすヨリ金山沖ニ到リシモ魚群ヲ認メサルノミナラス強風雨襲來スルノ恐レアリシニツキ午前十一時歸港シタリ

七月十八日 雨天 南東暴風

風雨ノ爲沖出ヲナサス

七月十九日 雨天 南西強風

前日ニ同シ

七月二十日 曇天 南軟風

午前六時三十分出船シいち浦沖ニテ夥シキ鯉群ニ遭遇シタレトモ潮流急激ナルト水深淺キ爲メ網ヲ使用スルコト能ハカリ
シハ遺憾ナリ

七月二十一日 雨天 西軟風

雨天ノ爲出漁セス

七月二十二日 雨天 南軟風

前日ニ同シ

七月二十三日 雨天 南西強風

前日ニ同シ

七月二十四日 雨天 南強風

前日ニ同シ

七月二十五日 雨天 南強風

前日ニ同シ

七月二十六日 雨天 南和風

前日ニ同シ

七月二十七日 雨天 南和風

前日ニ同シ

七月二十八日 雨天 南強風

前日ニ全シ

七月二十九日 曇天 西和風

朝來雨模様ナリシモ已ニ雨天ノ爲メ八日間モ休業シタル后ナルニツキ大ニ漁夫ヲ勵マシテ沖出ヲナシ金山沖ニ到リシニ所々ニ魚群ヲ認メタルモ悉ク暗礁ノ上ニシテ網ヲ使用スルコト能ハス時ニ他ノ漁船ヨリあらふと沖ニテ魚群ヲ見シトノ報知アリシニ依リ直ニ同所ニ急行セシニまればノ大群小魚ヲ追フテ飛躍シ且ツ鱗モ數尾混交セリト雖モ水深十尋内外ノ暗礁上ニシテ使網ニ危険多キニツキ一時躊躇セシモ遂ニ張網シ金魚群ヲ圍繞セシモ魚群ハ其網中ニ在ルヲ知ラサルモノ、如シ故ニ全力ヲ注テ網ノ締結ニ着手セシニ網ハ果シテ暗礁ニ罹リ如何トモナスコト能ハサルヲ以テ止ムヲ得ス舫ヲ解キ數千ノ魚群ハ逃散セシメ辛フシテ網ヲ揚ケ其破損セル処ヲ修理スル爲メ直ニ歸港シタリ

七月三十日 晴天 南西和風

午前六時手船ヲ伴フテ出船シ金山沖ニ於テ餌附ノ魚群ヲ圍繞セシモ網裾暗礁ニ纏絡シテ破損シ一尾モ捕獲スルコト能ハカリシニ依リ直ニ損所ヲ修理シ同所附近暗礁ノナキ処ニ於テ第二回ノ投網ニ着手セシモ逆網船ニ過失アリタル爲メ完全ニ投網スルコト能ハスシテ止ミタリ第三回モ亦同所附近ニ於テ一大魚群ヲ圍繞シ得タルニツキ一同大ニ勇ミ網裾ノ締結ニ着手セシニ網ハ復暗礁ニ罹リテ曳寄スルコト能ハサルニヨリ已ムヲ得ス中央ノはかいヲ解キテ兩斷シ兩網船各其一半ヲ辛フシテ繰揚ケタリ而シテ如斯不完全ニ使網セシニモ拘ラス逆網ニ於テハまれば百二十尾だつ三十三尾ヲ捕獲シタリ

七月三十一日 曇天 南西和風

午前六時三十分出船シ金山沖ニ至リまれば群ヲ認メテ張網シ悉ク圍繞シタレトモ網裾暗礁ニ纏絡シ破損シタル爲メ一尾モ捕獲スルコト能ハス依テ直チニ投網シテ網ノ修理ヲナシ傍ラ手船ヲ派遣シ魚群ヲ搜索セシメシニ所々ニ飛躍セルモノアリト雖悉ク暗礁ノ上ニシテ使網スルコト能ハサルニツキ午后三時歸港シタリ

八月一日 快晴 西微風

午前六時出船シあらふと及金山沖ニ於テ數回魚群ヲ認メテ投網セシモ毎回魚群ノ游足速ニシテ圍繞スルコト能ハス午後三時歸港シタリ

八月二日 晴天 西強風

午前六時出船シまゐくるすニ於テまんばん群ヲ認メテ投網二回ニ及ヒシモ風強クシテ操業意ノ如クナラス網ヲ充分ニ張り擴ケ能ハカリシニツキ僅ニまんばん十一尾ヲ獲タルノミ

八月三日 雨天 西強風

風雨ノ爲メ沖出ヲナサズ

八月四日 雨天 南西強風

前日ニ同シ

八月五日 晴天 東強風

午前六時出船シ金山沖ニ到リシニまんばんノ大群浮游セルモ暗礁ノ上ニシテ投網スルコト能ハス午前十時頃ヨリ漸次風力強ク天候險惡トナルノ恐レアルニ依リ歸港シタリ

八月六日 雷雨 南東強風

風雨ノ爲沖出ヲナサズ

八月七日 曇天 南東強風

風強ク波浪高クシテ沖出ヲナスコト能ハス

八月八日 曇天 南東暴風

前日ニ同シ

八月九日 曇天 南西強風

前日ニ全シ

八月十日 快晴 北々西和風

未明ヨリ出漁シ金山沖まいくるす等ニ於テ所々ニ魚群ヲ認メタルモ悉ク暗礁ノ上ニシテ投網スルコト能ハス

八月十一日 快晴 南和風

午前五時出船まいくるす沖ニ到リまんば群ヲ認メ投網セシモ游足速ニシテ逆網ノ船下ヨリ逃逸シ一尾モ捕獲スルコト能ハス之レヨリ後ハ復魚群ヲ認メサルニ依リ午前十一時歸港シタリ

鱻延繩及旗魚(秋太郎)延繩貸與試驗

本試驗ハ共ニ三十六年度ヨリ繼續ノ事業ニシテ前二ケ年間試驗ノ結果ヲ觀テ漁具ノ貸與ヲ願出ルモノ多キノミナラス南海諸島ノ近海ニハ大形ノ鱻多キニ依リ鱻延繩ハ大分縣佐賀關漁業者ノ使用スルモノト同一ノモノニ組ヲ新調シ從來ノモノト併セテ貸與スルコト、ナシタリ

漁具ノ被貸與者ニシテ兵役ニ召集セラレ豫定ノ如ク從漁シ能ハサリシモノアリ又三十九年度ニ繼續シテ從漁セルモノアリ故ニ之レ等ノ成績ハ三十九年度事業報告ニ記載スヘシ

鱻 延 繩

鹿兒島郡谷山村河野嘉助報告

明治三十八年十一月下旬自村ヲ出船シ宮崎縣南那珂郡及本縣下佐多岬屋久島近海ニ於テ鱻ヲ餌料トシテ從漁シ鱻八十一尾(此賣却價額四百五拾圓餘)ヲ捕獲シ三十九年三月下旬歸村シタリ

熊毛郡北種子村後庵計佐吉報告

明治三十八年春期北種子村住吉沖及馬毛島沖ニ於テのくり、瀬魚類ヲ餌料トシ二週間ノ内ニ投縄スルコト三回ニシテ鱈八尾(一尾ノ重量二百斤乃至三百斤一尾ノ價額二圓五十錢乃至四圓五拾錢)ヲ捕獲シタルニ依リ乗込員一同將來大ニ有望トナシ益々奮勵從漁スルノ決心ナリシモ軍隊ニ召集セラレタル爲メ繼續試驗ヲナスコト能ハカリシハ遺憾ニ堪ヘサル処ナリ

旗魚(秋太郎)延繩

鹿兒島郡谷山村恒吉七郎報告

月日	漁場	餌	料		獲物	備考
			種	量		
九月 廿九日	揖宿郡喜入村	小	ま	さ	は	餌料ナキ爲休業
九月 三十日		か	ま	さ	は	餌料ナキ爲休業
十月 一日						同
十月 二日						同
十月 三日						同
十月 四日	肝屬郡高須沖	小	さ	か	は	
十月 五日	佐多岬沖	い	さ	か	は	
十月 六日						餌料ナキ爲休業
十月 七日	佐多岬沖	い	さ	か	は	
十月 八日	同	同	い	さ	は	

十月二十六日	十月二十五日	十月二十四日	十月二十三日	十月二十二日	十月二十一日	十月二十日	十月十九日	十月十八日	十月十七日	十月十六日	十月十五日	十月十四日	十月十三日	十月十二日	十月十一日	十月十日	十月九日	
佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	佐多岬沖	
さい						かさ						同	いさ				か	
							ま										ま	
ばかさ	ばかさ	ばあし	ばあし	ばあし	ばあし	すばし	すばし	ばし	ばし			かばふし	かばふし	かばふし	かばふし	かばふし	す	
はら	はら	きたるび	きたるび	きたるび	きたるび	はら	はら	はら	はら				きたるび	きたるび	きたるび	きたるび	きたるび	
																	ナ	
二	二	二三	二三	同	同	三五	三五	シ	同	同	同	同	一五	二四	三	同	同	シ
荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	荒天ノ爲メ休業	餌料ナキ爲メ休業	餌料ナキ爲メ休業	餌料ナキ爲メ休業	餌料ナキ爲メ休業	餌料ナキ爲メ休業	餌料ナキ爲メ休業

二月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月
一	卅	三十	廿九	廿八	廿七	廿六	廿五	廿四	廿三	廿二	廿一	二十	十九	十八	十七
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

鹿兒島郡谷山村是枝周助報告

二月 十八日	二月 十七日	二月 十六日	二月 十五日	二月 十四日	二月 十三日	二月 十二日	二月 十一日	二月 十日	二月 九日	二月 八日	二月 七日	二月 六日	二月 五日	二月 四日	二月 三日	二月 二日
同	清					清					同	清				
	水					水						水				
	沖					沖					同	沖				
	い					い						さ				
	か					か						ば				
し	ふ					あ						か	し	ふ		
	き					き						き				
	た					た						つ	た			
び	か					る						を	び	か		
	ろ					び						ろ				
三	二					一						二	五	三		
以上漁獲物賣却價額參百五拾圓餘	同	同	同	同	餌料ナキ爲休業	同	同	同	餌料ナキ爲休業	同	同	同	同	同	同	同

月	日	漁場	餌	料	種	獲	類	數量	物	備	考
九月	六月	揖宿郡喜入沖	小	さ	ば	ふ		二		荒天ノ爲休業	
九月	七月										
九月	八月	喜入沖	小	さ	ば	ふ		二一		荒天ノ爲休業	
九月	九月										
九月	十月										
九月	十一月										
九月	十二月										
九月	十三日										
九月	十四日										
九月	十五日										
九月	十六日	肝屬郡高須沖	か	ま	す	ふ		二			
九月	十七日		小	さ	さ	き		一一			
九月	十八日	郡大根占沖	か	ま	す	あ		一一			
九月	十九日										
九月	二十日	郡高須沖	小	さ	ば	あ		二一		荒天ノ爲休業	
九月	二十一日		同					二一			

熊魚秋太郎延繩

九月廿二日	九月廿三日	九月廿四日	九月廿五日	九月廿六日	九月廿七日	九月廿八日	九月廿九日	九月三十日	十月一日	十月二日	十月三日	十月四日	十月五日	十月六日	十月七日	十月八日	十月九日
高須	同	同	同	同	揖宿郡兒ヶ水沖い	揖宿郡兒ヶ水沖い	兒ヶ水沖い	兒ヶ水沖い	佐多岬沖い	佐多岬沖い	小根占沖い	佐多岬沖い	佐多岬沖い	佐多岬沖い	佐多岬沖い	佐多岬沖い	揖宿郡湊沖い
ばあ	ふあ	ふあ	ふあ	ふあ	さあ	さあ	さあ	さあ	ふあ	ふあ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ
き	き	き	き	き	は	は	は	は	き	き	き	き	き	き	き	き	き
た	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た
ろ	ろ	ろ	ろ	ろ	ら	ら	ら	ら	ろ	ろ	ろ	ろ	ろ	ろ	ろ	ろ	ろ
ナ																	
餌料ナキ爲休業	荒天ノ爲メ休業	同	同	同	同	同	同	同	餌料ナキ爲休業	餌料ナキ爲休業	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ

十月 廿七日	十月 廿六日	十月 廿五日	十月 廿四日	十月 廿三日	十月 廿二日	十月 廿一日	十月 二十日	十月 十九日	十月 十八日	十月 十七日	十月 十六日	十月 十五日	十月 十四日	十月 十三日	十月 十二日	十月 十一日	十月 十日
				肝 屬 郡 岸 良 沖						佐 多 岬 沖 い							
				さ あ													
				ば ち さ あ						か あ							
				さ あ						き た ろ							
				は た ら ろ													
同	同	同	荒 天 ノ 爲 休 業	二 一	同	同	同	同	荒 天 ノ 爲 休 業	一	同	同	同	同	同	同	荒 天 ノ 爲 餌 料 ナ キ 爲 休 業

鹿兒島縣水產試驗場報告終

旗魚 秋太郎 延繩

十二月廿四日	清	水	沖い	かし	び	一	餌料ナキ爲休業
十二月廿五日						同	
十二月廿六日							
十二月廿七日	清	水	沖い	か		シ	
十二月廿八日	同		同			シ	
十二月廿九日	同		同	ふ	か	二	
十二月三十日	同		同	し	び	三	
十二月卅一日	同		さ	ば ふし	か び	三一 余	以上九月六日以來ノ漁獲物賣却價額四百七十圓

明治三十九年七月十八日印刷
明治三十九年七月二十日發行

鹿兒島縣水產試驗場

鹿兒島市應師町八拾九番戶

印刷者 北川 右之丞

鹿兒島市山下町百七拾壹番地

印刷所 鹿兒島新聞社